

令和2年12月5日

神奈川県バドミントン協会会員の皆様

神奈川県バドミントン協会
会長 羽 隅 弘 治
(公印省略)

令和2年度会員登録のお願い

日頃より本協会事業に対してご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

このたび公益財団法人日本バドミントン協会から今年度の会員登録の普及促進について下記のような依頼文がまいりました。

昨年度、神奈川県バドミントン協会から日本バドミントン協会への登録数は2万人を超えていましたが、今日現在の神奈川県バドミントン協会からの登録数は1万5千人ほどです。新型コロナウイルス感染症まん延が収束しない中で、本協会主催大会や各連盟等の事業が相次いで中止になる状況にあつて会員登録を控える方が増えていると思われます。

けれども来年度、日本バドミントン協会から神奈川県バドミントン協会への補助金は今年度の登録数で補助の金額が決定いたします。できる限りの日本バドミントン協会への会員登録にご協力をお願いいたします。

記

日本バドミントン協会からの依頼文（抜粋）

令和2年12月1日

各 位

公益財団法人 日本バドミントン協会
会長 関根 義雄

「CORONA 禍における会員登録のお願い」

平素から本協会活動へのご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて今般、今年3月からのCORONA感染拡大により世界中の国々と日本国内に於いても緊急事態宣言の発令から経済活動自粛要請による多大な影響が全国民に重くのしかかり経済活動の停滞、スポーツ界に於いてはほとんどの大会・活動が中止を余儀なくされてきました。世界バドミントン連盟主催大会及び本協会主催大会もデンマークオープン1大会のみを開催、年末開催予定の全日本総合選手権大会（無観客開催）を除いて現在のところ全て中止となりました。

ジュニア層を対象とした公式大会も全て中止になり日本バドミントン界の将来を担う人材育成も滞った状況になっています。

この状況の中、我々、本協会もいつかは守りから攻めに転じる機会を探りながら政府動向に準じながら全ての大会及び活動が正常に再開される事を願って準備をしております。

しかしながら9月末時点での本協会会員登録実績数が昨年度（令和元年）比、約40パーセント弱の12万人となっており11月22日開催の本会理事会でも監事からの指摘もあり理事全員がこの状況に対して強い危機感をもっております。

各協会・連盟の実務担当者の皆様におかれましては、この厳しい状況をご理解頂きまして対象者となる会員に対しての登録促進の積極的な働きかけを強くお願いする次第です。